

平成25年度 登山道協働型管理についての提案 [新規]

協働型登山道維持の取り組みについて情報交換会では、従来は関係団体からの活動計画は、他者はその活動内容を聞くのみ、というスタンスでしたが、平成25年度からは

- ①協働型に取り組む関係者に限っては
- ②各者から提案のあった活動計画の範囲で
- ③作業を補完し合う

相互乗り入れ可能な協働型の取り組みを提案します。

従来は整備履歴の重要性から、所定の様式による作業記録を求めていましたが、より積極的に取り組んでもらうため

「作業報告書 簡易版」の運用
簡略化した作業報告書

- ・A5サイズ、写真や地図を必要としない
- ・公園管理者の作業の一部の作業(法手続のない作業)
- ・各山岳会の計画範囲に限る

記録性よりも、書き易さ・出し易さを重視

作業後、【作業報告書 簡易版】に必要事項を記入し
自然保護官事務所へ紙・FAX・メールで提出



自然保護官事務所から
協働型関係者・土地所有者・法的関係者・路線の主たる担当団体に
情報転送



リアルタイムな情報の共有



メリットとしては

- ①関係機関同士で助け合うことで、慢性的な人員の不足を解消することができる
- ②よりよい手法の提案、相互の長所を取り入れる
- ③日程を共有し、協力して活動することにより横の繋がりが出来る



きめ細やかで持続的な維持管理へ